

# 中期経営計画2019-2021

## -Progress To The Next Stage-

次なるステージに進化

2019年6月6日

株式会社加藤製作所

代表取締役社長 加藤公康



## I. 会社概要

- i. 会社概要 P.2
- ii. 発展の経緯 P.3
- iii. 経営理念・経営ビジョン・経営の基本方針 P.4
- iv. 主要製品及び活用分野 P.5

## II. 前中期経営計画2016-2018

- v. 前中期経営計画 P.6
- vi. 前中期経営計画の振り返り P.7-P.9

## III. 中期経営計画2019-2021

- vii. 取り巻く事業環境 P.10
- viii. 当社の目指す方向 P.11
- ix. 基本戦略（2019-2021） P.12-P.14
- x. 経営数値及び財務戦略・株主還元 P.15
- xi. **KATO**グループ社会貢献・地域貢献活動 P.16
- xii. TOPICS P.17-P.18

# i. 会社概要



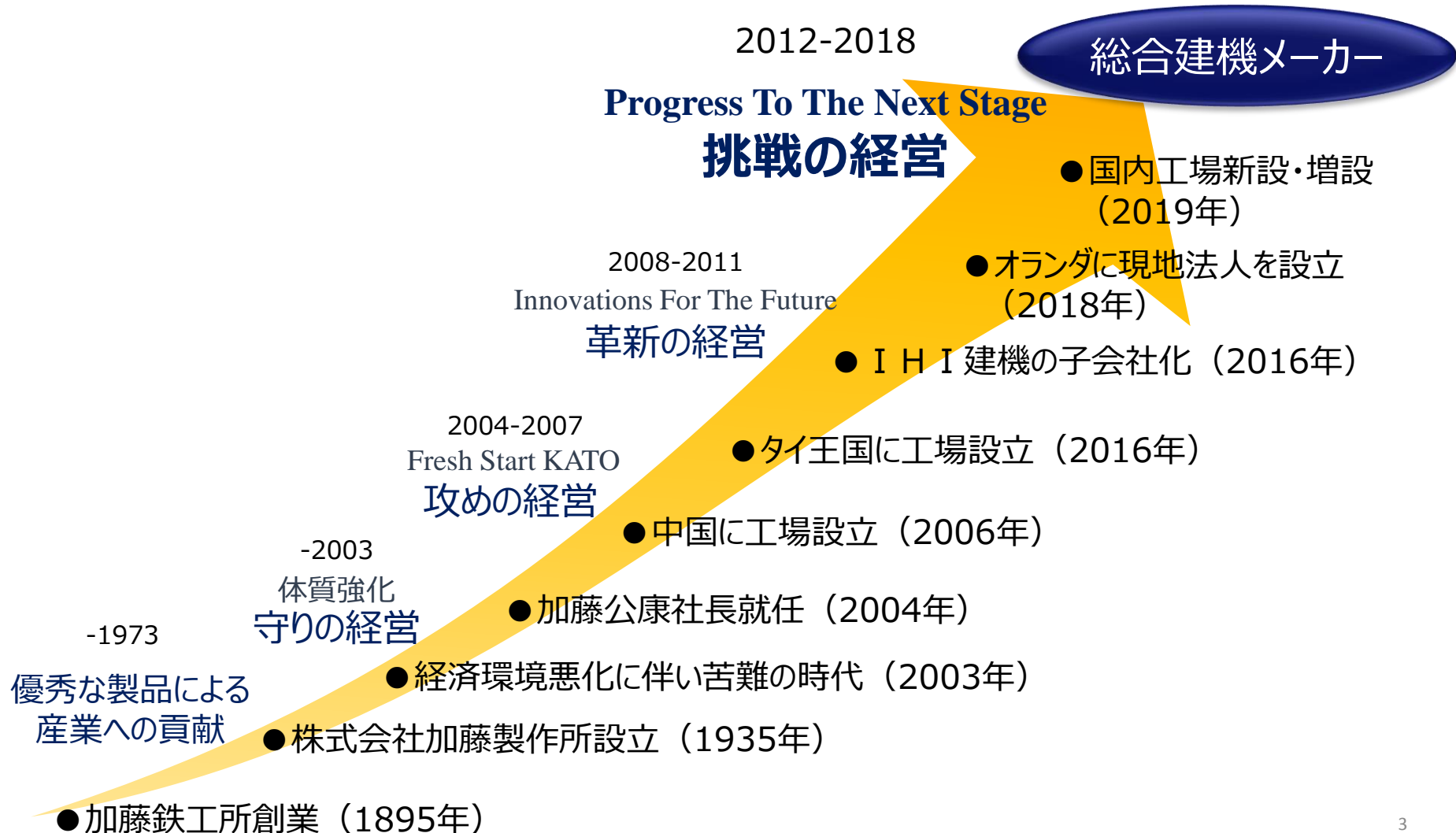
- 商 号 : 株式会社加藤製作所 **KATO WORKS CO., LTD.**
- 創 業 : 1895年 (明治28年)
- 設 立 : 1935年 (昭和10年)
- 資 本 金 : 29億3,589万円 (発行済株式総数1,174万株)
- 代 表 者 : 代表取締役社長 加藤 公康
- 従 業 員 数 : 連結 : 1,258名 単体 : 892名 ※2019年3月31日現在
- 事 業 内 容 : 荷役機械、建設機械、産業機械の製造・販売
- 主なグループ会社 : 加藤 (中国) 工程机械有限公司  
石川島中駿 (厦門) 建機有限公司  
KATO WORKS (THAILAND) CO., LTD.  
KATO EUROPE B.V.  
KATO IMER S.p.A.  
COMPACT EXCAVATOR SALES, LLC (CES) USA



代表取締役社長 加藤 公康

## ii. 発展の経緯

➤ 「攻めは最大の防御」をモットーとした経営が業績急回復につながり、成長軌道へ



## 【企業倫理】

コーポレートガバナンス・コンプライアンス体制の確立

### 経営理念

優秀な製品による  
社会への貢献

### 経営ビジョン

グローバルブランド **KATO** の  
更なる信頼と拡大

### 経営の基本方針

- ▶ 当社は、「優秀な製品による社会への貢献」を経営理念とし、法の下に社業を忠実に行い、職務を通じて社会の進歩と発展に寄与することが責任遂行の基本と考える。
- ▶ 当社に関係するすべての方々から信頼される会社となるため、コーポレートガバナンス、コンプライアンス体制を充実し、会社の持続的な成長と経営の健全性確保をはかることにより、更なる企業価値の向上に努めるものとする。
- ▶ 技術優先のメーカーとして、信頼性の高い製品を世界に供給し続けるグローバルブランド **KATO** を、更に確固たるものにする。

長期経営目標  
中期経営計画  
事業戦略

# iv. 主要製品及び活用分野

製品

## 建設用クレーン



ラフター  
オルター  
トラッククレーン  
積載形トラッククレーン  
クローラクレーン

## 油圧ショベル等



油圧ショベル  
ミニショベル  
アースドリル  
クローラキャリア  
フォワーダ・タワーヤード

## その他



路面清掃車  
万能吸引車  
スノースイーパー

活用  
分野

建設・土木工事

建設・土木工事  
林業

道路清掃、除雪  
空港滑走路除雪

# v.前中期経営計画

目標 数値	売上高 <b>860億円</b>	営業利益率 <b>8%</b>	ROE <b>10%以上</b>
----------	---------------------	--------------------	---------------------

国内  
市場

➤ 国内シェアアップ

海外  
市場

➤ グローバル市場の攻略

調達  
販売

➤ 適正価格の維持

製品

- 競争力の高い製品開発
- 製品レンジの拡大
- 製品信頼性の向上

生産

➤ IoTの推進

人財

- 技術力の強化と技能の伝承
- 人財の育成活用

## vi. 前中期経営計画の振り返り

- 売上高はほぼ目標値を達成したが、経営環境の変化と競争の激化により、営業利益率・ROEは計画を下回った

	前中期経営計画 2016-2018		当期実績 (2019年3月期)
売上高	860億円	➡	854億円
営業利益率	8%	➡	5%
ROE	10%以上	➡	5%

- ✓ IHI建機を吸収合併
- ✓ タイに新工場を設立
- ✓ オランダに子会社を設立
- ✓ 茨城県坂東市に工場を新設、群馬工場を最新鋭工場として増設・リニューアル



# vi. 前中期経営計画の振り返り

国内  
市場

国内シェアアップ

- ✓ シェアはほぼ横ばい

海外  
市場

グローバル市場の  
攻略

- ✓ 旧IHI建機の合併により中国2工場体制
- ✓ 旧IHI建機の欧州、北米拠点の確保
- ✓ ASEANの拠点としてタイ工場新設
- ✓ KATO EUROPE B.V.設立

調達  
販売

適正価格の維持

- ✓ 販売価格下落傾向の中、良質な受注
- ✓ 販売台数は減少したが、適切な利益を確保

製品

競争力の高い製品  
開発

- ✓ SL-500Rf、KA-3000R、HD820-7等のヒット商品の販売
- ✓ 走行安全装置の開発

製品レンジの拡大

- ✓ 旧IHI建機との合併によりクローラクレーン、ミニショベル、クローラキャリアのラインナップ追加

# vi. 前中期経営計画の振り返り

## 製品

製品信頼性の向上

- ✓ 3Dデジタル手順書による工場の製品品質の確保
- ✓ 茨城工場に大型 X線検査設備を導入
- ✓ 国内外プロダクトサポート要員対象にグレードアップ教育の実施

## 生産

IoTの推進

- ✓ 全社経営統合システム構築中
- ✓ 工場内ネットワーク構築中

## 人財

技術力の強化と技能の伝承

- ✓ 大学との共同研究などの実施
- ✓ 若手技能者の積極的採用
- ✓ 定年退職者による中堅・若手技能者への教育実施

人財の育成活用

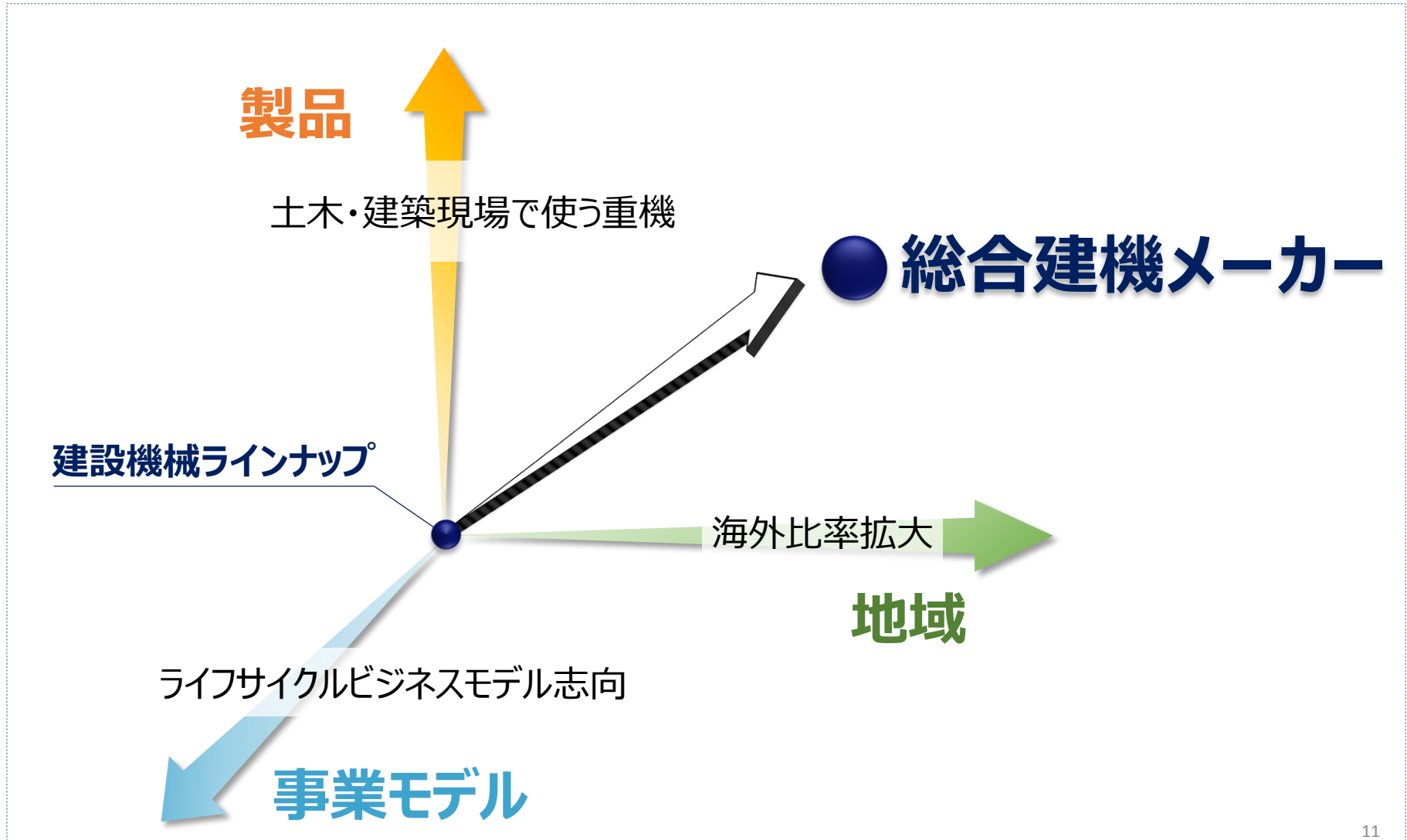
- ✓ 外国人財の積極的採用
- ✓ 女性技術者の積極的採用

# vii. 取り巻く事業環境

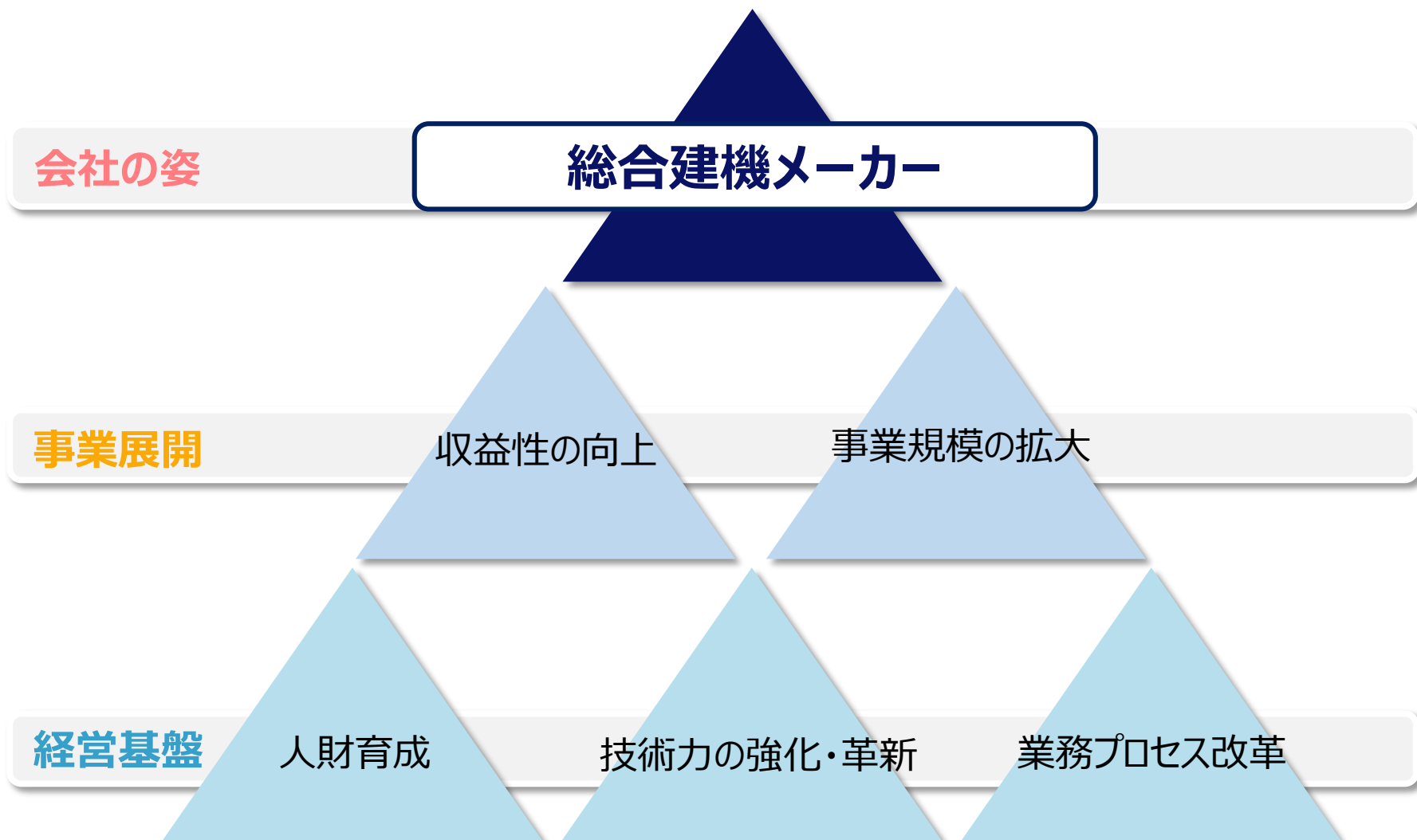


# viii. 当社の目指す方向

➤ 3つの軸に沿って拡大し、「総合建機メーカー」を目指す



## ▶ 個別戦略の全体像



## 収益性の 向上

- ✓ 旧IHI建機との統合による販売力強化
- ✓ 新工場の立ち上げとIoT化による生産性向上
- ✓ 更なるコストダウン推進

## 事業規模の 拡大

- ✓ 海外販路の拡大（世界5拠点体制）  
（日本、中国、欧州、東南アジア、北米）
- ✓ アフターマーケット（サービス事業、部品販売）への注力
- ✓ 既存製品群のラインナップの拡大
- ✓ 新製品群・新事業の拡大（M&Aも考慮）

## 人財育成

- ✓ ダイバーシティの推進
- ✓ 若手の早期育成と中堅層の強化
- ✓ 旧IHI建機との人財融合

## 技術力の 強化・革新

- ✓ 基盤技術の強化  
(加藤製作所と旧IHI建機の技術の融合)
- ✓ 先端技術の取り込み  
(大学や他社との共同研究など)

## 業務プロセス 改革

- ✓ IT化の推進による業務の効率化、働き方改革の推進
- ✓ リスク管理のさらなる強化 (与信管理の強化・徹底)

# X. 経営数値及び財務戦略・株主還元

2019-2021 中期経営 計画	売上高 <b>920億円</b>	営業利益率 <b>5%</b>	ROE <b>5%</b>
-------------------------	---------------------	--------------------	------------------

※経営数値について

先進国向け販売が旧IHI建機との販売シナジー効果により増加していくものの、当該地域での競争が激化すること、利益率の高い中国市場が緩やかに後退していくことを想定しており、さらに坂東工場の新設及び群馬工場の増設による償却負担の増加を加味しております。

## ➤ セグメント別売上計画

地域	2019年3月期 (実績)	2020年3月期	2022年3月期
日本	706億円	715億円	757億円
中国	140億円	138億円	136億円
その他	7億円	17億円	27億円
計	<b>854億円</b>	<b>870億円</b>	<b>920億円</b>

※当社グループは製造・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されております。

## ➤ 財務戦略

売上債権及びたな卸資産回転率の改善に取り組むことにより事業収入を拡大し、「新製品開発及びM&Aなどの戦略的な投資」を実施する。

## ➤ 株主還元

配当は、安定配当を基本としながら、企業体質の強化を図るため、内部留保に留意しつつ、経営環境や収益状況等を総合的に勘案したうえで決定する。



- 企業市民として、スポーツ振興、社会貢献、地域共生・貢献活動により、企業価値向上を図る

**スポーツ振興**



プロバスケットボールチーム  
「東京エクセレンス」の運営

**次世代の  
青少年育成**



バスケットボールアカデミー、  
チアアカデミーの運営

**地域共生・貢献**



2020年創業125周年記念事業  
土地の有効活用の観点からビジネスホテルを開業  
地域住民に親しんでいただくレストランを併設

## 群馬教習センターの 開設



建設機械オペレータの育成を目的として、2018年10月に開設

## オランダに子会社 設立



営業・技術サポートを強化し、欧州全域への販路拡大するため、2018年8月に設立

### **KATO EUROPE B.V.**

## 100tクレーン KA-1000RX を新発売



グローバル仕様の戦略機種として、100t KA-1000RXを新発売

## 坂東工場の 新設



建設機械等部品の製造・保管を  
行う新工場を2019年4月より稼動

## 群馬工場の 増設



旧IHI建機の移転先・最新鋭工場として、  
生産開始

## 東京エクセレンス B2へ昇格



KATOグループ初年度に初の総合1位

本資料に記載されている現在の計画や今後の見通しに関する内容につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて、計画・予想したものであります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのため、本資料におきましては、その実現を確約あるいは保証するものではありません。

## お問合せ先

株式会社加藤製作所  
総務人事部 IR担当

〒140-0011 東京都品川区東大井1-9-37  
E-Mail:ir-kato@kato-works.co.jp